

# 令和5年度 事業計画

## 1. 基本方針

日本経済は、3年続けたのコロナショックから立て直しが見られるものの、新型コロナウイルスの感染拡大によって、我々の日常生活が大きくかわり、世界的には、ウクライナ危機に伴う物価高となり、景気回復にも大きな影響をあたえる状況が続き日本経済に停滞感をもたらしております。

一刻も早く、経済成長率の上昇と正常化が求められ、安定した経済活動による景気回復を願うばかりです。

さて、これからの2025年問題として、団塊世代が75歳以上の後期高齢者となることで起こる労働力問題や医療問題の総称ですが、日本では、基本的に若い世代の労働力が高齢者の生活を支える形となっているため、労働力が減少してしまうと若い世代が高齢者を支え切れないとの予測がされており、現在の少子高齢化のさなか、人手不足・人材不足とされ、多種多様な人材を受入ながらの対策が図られておりますが、今後は、従業員がライフスタイルに合わせて働き方を選べる環境作りが必要とされることが予測されます。

人手不足を解消する手段として、シニア世代が注目されており、特に経済的な事情だけでなく、生活に対する充実感などを求めて定年以降も働きたいと考える人が多いようで、企業にとっては、就業意欲の高いシニア層へのアプローチが効果的とされ、「高年齢者雇用安定法」の改正もあり就労機会を確保する企業が増加しつつあります。

また、女性が働きやすい職場環境を用意することも大切とされ、多様な働き方を受け入れることにより、自身で働く時間帯を決められるフレックスタイムや勤務時間の時短制度など、家庭との両立を求める主婦層が多く見受けられ、生涯現役で働くことができるシルバー人材センターは「自主・自立、共働・共助」の理念を基に会員・役職員が一丸となり取組んでまいります。

今年の運営状況は、10月1日からのインボイス制度の導入により、今後のセンター事業におけるリスク管理にも備えなければなりません。

加えて、中期計画は、5カ年計画の最終年度となりますが新たな中期計画の策定のもと、目標達成に向けた会員並び役職員が一体となり事業推進に努めてまいります。

## 2. 事業実施計画

### (1) 会員の拡大の推進

- ① 毎月1回の入会案内PR活動と入会説明会による会員拡大事業に努めてまいります。
- ② ホームページによる会員活動の発信と会員普及啓事業に努めてまいります。
- ③ 公共機関・広報・各種広告等によるPR拡大事業に努めてまいります。

## (2) 就業機会確保と基盤拡大の推進

- ① 公共・民間企業等へのアプローチを積極的に行い、就業機会確保と基盤拡大に努めて参ります。
- ② 会員の未就労及び就業率また、技能向上のために研修会や講習会を開催し、新規開拓就労に努めてまいります。
- ③ 派遣事業における派遣先の就業維持及び就業拡大に努めてまいります。

## (3) 安全・適正就業と健康管理の推進

- ① 安全就業は、会員の健康管理が基本とされるため、健康維持と特定健康診断の推進に努めてまいります。
- ② 安全就業は、安全・適正就業委員会が中心となり、安全パトロールの実施及び事故対策や事故検証会議などの開催を行い、安全就業の啓発活動に努めてまいります。
- ③ 適正就業は、ガイドラインに沿った就業形態の確立を目標に法令等を遵守すべく「自主・自立・共同・共助」に基づき、公平・平等な適正就業に努めてまいります。

## (4) 独自事業の推進

- ① 会員の経験を活かして技術の向上を図り、会員と市民に向けた野菜類の生産販売を推進してまいります。
- ② シルバー並びに市民との交流を深めつつ、ふれあいセンターを拠点とした「第15回生き生きフェア」を10月第3日曜日に開催し、会員が生産した野菜等の販売や、経験を活かした刃物研ぎ・手芸品の展示販売・バザー・ゲーム等で市民とのふれあいをより一層深めてまいります。

## (5) 指定管理事業の推進

- ① ふれあいセンター運営は、令和4年4月から1年経過致しましたが、引き続き富良野市からの協定に基づき、高齢者福祉施設並びに勤労者施設が交流の場として、ご利用者のサービス向上に努めてまいります。
- ② ふれあいセンター内就労相談窓口は、高齢者就労と社会参加の促進に向けた取組の一環として、また、生涯現役社会づくりの高齢者支援にも努めてまいります。
- ③ 毎年恒例の「第15回生き生きフェア」は、ふれあいセンターに於いて、10月第3日曜日に開催日とした市民と会員の交流を深めるための自主事業として実施いたします。

## (6) ボランティア活動の推進

- ① 会員・役職員の社会参加活動により、ふれあいセンター・観光公園・ワインロード・歩道橋等のボランティア清掃を通じて、地域の活性化に繋がるように努めてまいります。
- ② シルバー奉仕事業として、会員手づくりの「手縫い雑巾」を毎年、福祉施設等に寄贈し、宣伝・普及啓発活動に努めてまいります。
- ③ ボランティア活動には、全会員が参加することとし、「富良野市シルバー親睦会」と連携を図りながら、会員同士の交流を深めると共に地域貢献活動に努めてまいります。

#### (7) 組織体制と財政基盤の強化

- ① 国及び市からの補助金制度の確保と財政基盤の安定強化に努めてまいります。
- ② 今後のインボイス制度におけるリスク管理対策と計画的な運営管理に努めてまいります。
- ③ 組織体制の安定強化と共に適正な財産運営の拡充を図り、役職員が総合的な組織強化の運営に努めてまいります。

#### (8) 関係機関との連携強化

富良野市を始めとし、全国シルバー人材センター事業協会、北海道シルバー人材センター連合会、道内各シルバー人材センター並びに各関係機関とともに連携を深め、事業の構築に努めてまいります。

#### (9) 中期計画の推進

平成31年度策定の「第1次中期計画」は、令和5年度をもって終了するために検証結果を踏まえて、より効果的な「第2次中期計画」の策定に取り組んでまいります。

### 3. 事業目標

1. 会 員 数            200人 (内 女性80人)
2. 受注契約金額       83,000千円